

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

長いもの有効成分を活用した新たな機能性商品による地方創生

2 地域再生計画の作成主体の名称

網走市及び北海道網走郡大空町

3 地域再生計画の区域

網走市及び北海道網走郡大空町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域創生の実現における構造的な課題

当地域は豊富な農業資源を有しているが、高付加価値化の取り組みが進んでおらず、生産者の後継者不足や高齢化などにより、今後の労働力不足に伴う農業生産力の低下が憂慮されている。

また、大規模経営に伴う莫大な設備投資の回収など、将来の経営に不安を持っている農家も多い。

さらに、TPPをはじめとした諸外国との関税交渉結果に伴う、農業を取り巻く環境の変化への対応など様々な課題に直面している。

4-2 地方創生として目指す将来像

当地域は、畑作三品（麦、馬鈴薯、甜菜）を中心とした一大食料基地として国内の穀物生産を支えているが、TPPをはじめとした諸外国との関税交渉の不透明感や、日本では網走市で初めて確認されたジャガイモシロシストセンチュウなどの重要病害虫の発生により生産者の不安は増大しており、今後安定した農業経営を行っていくために、機能性に特化した農産物を活用した商品を開発し高付加価値化を図る。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成 29 年度 増加分 (1 年目)	平成 30 年度 増加分 (2 年目)	平成 31 年度 増加分 (3 年目)	KPI 増加分の 累計
機能性農産物(長いも) の機能性商品の開発	0 個	2 個	1 個	0 個	3 個
機能性農産品加工研究 施設の構想策定	—	—	—	1	1
研究成果(網走市の高付 加価値化)提言	—	—	—	1 本	1 本

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

機能性農産物(長いも)の含有成分についての実証調査・商品開発を行い、それを元に将来的な製造工場や研究施設の誘致・建設を目指すものである。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金(内閣府) : 【A3007】

① 事業主体

網走市及び北海道網走郡大空町

② 事業名称

長いもの有効成分を活用した新たな機能性商品開発

③ 事業内容

平成28年度に調査・研究を進めた機能性農産物(長いも)の澱粉特性、栄養特性、抗ウイルス特性等について、機能性物質の抽出・安定化、家畜給餌調査、嚙下商品などの開発・実証調査を専門機関へ調査委託する。

今後、この機能性商品の製造工場や研究施設の誘致・建設を視野に入れた市場性、企業化について調査を行う。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

開発した商品の販売収入及び特許のロイヤリティにより、事業の自立化を目指す。また、今後の雇用拡大を図る。

【官民協働】

行政で直接行うのが困難な専門分野の研究業務の調整・協議などをJA、大学などと協働で行っていくことにより、事業全体のスムーズな進捗が図られるだけでなく、その知識・手法が今後の行政の政策形成にフィードバックされる。

【政策間連携】

機能性農産物の開発により、保健福祉との連携が図られるだけでなく、地域住民の健康に対する意識の向上が図られる。

また、観光・環境との連携により、観光産業と病害虫に対する住民意識の向上が図られる。

【地域間連携】

地域間の連携により、それぞれの環境や施策の違いによる広域的な事業検証がされることにより、より良い商品開発が見込まれる。

【その他の先導性】

特になし

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成 29 年度 増加分 (1 年目)	平成 30 年度 増加分 (2 年目)	平成 31 年度 増加分 (3 年目)	KPI 増加分の 累計
機能性農産物(長いも) の機能性商品の開発	0 個	2 個	1 個	0 個	3 個
機能性農産品加工研究 施設の構想策定	—	—	—	1	1
研究成果(網走市の高付 加価値化)提言	—	—	—	1 本	1 本

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

網走市：網走市選択する未来会議

北海道網走郡大空町：大空町まち・ひと・しごと創生会議

【外部組織の参画者】

網走市：オホーツク網走農業協同組合、網走漁業協同組合、西網走漁業協同組合、網走商工会議所、網走市観光協会、網走市医師会、網走市社会福祉協議会、東京農業大学オホーツクキャンパス、日本体育大学附属高等支援学校設立準備室、網走信用金庫、網走地区連合会女性委員会、網走市青年団体連合会、東京農業大学農友会、網走市女性団体協議会、FOREVER 網走、N P O 法人創成塾、網走市町内会連合会、日本政策金融公庫、北海道銀行、北洋銀行、網走南ヶ丘高等学校（生徒）

北海道網走郡大空町：女満別農協、網走地区森林組合、オホーツク網走農協、西網走漁協、大空建設業協会、大空町社会福祉協議会、女満別福祉会、大空町民生児童委員協議会、大空町自治会連合会、大空町交通安全防犯推進委員会、大空町小中学校長会、大空町社会教育委員会、網走信用金庫女満別支店、オホーツク網走農協青年部、子育て世代女性

【検証結果の公表の方法】

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、網走市選択する未来会議及び大空町まち・ひと・しごと創生会議において、結果について評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けた必要な計画の見直しや変更を行う。検証結果は市及び町のホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・法第5条第4項第1号イに関する事業
- 総事業費 36,000 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 32 年 3 月 31 日まで

7 目標達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

【検証方法】

網走市：網走市選択する未来会議

北海道網走郡大空町：大空町まち・ひと・しごと創生会議

【外部組織の参画者】

網走市：オホーツク網走農業協同組合、網走漁業協同組合、西網走漁業協同組合、網走商工会議所、網走市観光協会、網走市医師会、網走市社会福祉協議会、東京農業大学オホーツクキャンパス、日本体育大学附属高等支援学校設立準備室、網走信用金庫、網走地区連合会女性委員会、網走市青年団体連合会、東京農業大学農友会、網走市女性団体協議会、FOREVER 網走、NPO 法人創成塾、網走市町内会連合会、日本政策金融公庫、北海道銀行、北洋銀行、網走南ヶ丘高等学校（生徒）

北海道網走郡大空町：女満別農協、網走地区森林組合、オホーツク網走農協、西網走漁協、大空建設業協会、大空町社会福祉協議会、女満別福祉会、大空町民生児童委員協議会、大空町自治会連合会、大空町交通安全防犯推進委員会、大空町小中学校長会、大空町社会教育委員会、網走信用金庫女満別支店、オホーツク網走農協青年部、子育て世代女性

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成 29 年度 増加分 (1 年目)	平成 30 年度 増加分 (2 年目)	平成 31 年度 増加分 (3 年目)	KPI 増加分の 累計
機能性農産物(長いも) の機能性商品の開発	0 個	2 個	1 個	0 個	3 個
機能性農産品加工研究 施設の構想策定	—	—	—	1	1
研究成果(網走市の高付 加価値化)提言	—	—	—	1 本	1 本

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表方法

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、網走市選択する未来会議及び大空町まち・ひと・しごと創生会議において、結果について評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けた必要な計画の見直しや変更を行う。検証結果は市及び町のホームページで公表する。